

学校給食に市内産の農産物を



■地産地消の推進

学校給食に市内で採れた農産物を供給するためのシステムを構築し、その運営経費などに1154万円。[13ページに関連記事]
写真は、総社東学校給食共同調理場での調理の様子

平成23年度も、長引く経済不況の影響により、税収の大幅な伸びが期待できず、市の財政は依然として厳しい財政状況です。総社市新生活交通「雪舟くん」や学校給食での地産地消の推進には、低い投資とアイデアで挑戦していくと、「チャレンジ予算」と名づけました。

また、「地域密着」「子育て」「社会的弱者」「人材育成」などに関わる分野に予算を重点化しました。そして、総社の魅力の発信や社会基盤の整備などについても、引き続き取り組んでいきます。

一般会計と8つの特別会計と2つの公営企業会計（水道）

の平成23年度の当初予算が決まりました。

一般会計の総額は238億2000万円と前年の同時期と比べ5億9000万円多く、率にして2.5%の増です。これは、中学生以下の子どもの養育者に支給される子ども手当の増額によるもので、その財源として国から交付される国庫支出金

が、前年同期比12.4%増の約30億7019万円となりました。

特別会計の総額は、前年同期比0.6%の減の148億7900万

円。水道関連の公営企業会計は、前年同期比5.7%の減で、19億9790万円。全会計の合計は406億9690万円、前年同期比で0.9%の増となりました。

今回の予算編成の特徴は、各課が予算要求の段階から、平成22年度の予算額を上回らないよう、支出を抑えたいこと。そして、投資的な事業も、総社市新生活交通「雪舟くん」をはじめ、農業ビジョンや観光プロジェクトの関連事業、3年間のローリングによる計画のなかで計上している事業に限定し、超

緊縮型の予算として編成しました。

財源の不足分は、前年同期比で約44%の減ながら、市の貯金から約5億8156万円を繰り入れていきます。また、市の借入金である市債の償還は、31億7334万円とわずかに減ったものの、30億円を今年度も超え、支出の13.3%を占めています。

このため、昨年4月に運用がスタートした第2次の行政改革大綱に基づき、経費の節減、事業の必要性や緊急性の検討をし、引き続き財政の健全化に努めます。

一般会計の歳入と歳出の総額 238億2000万円

